



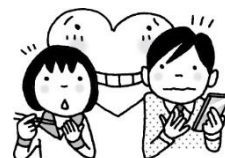
2016/9/16 No.3
古川黎明高校 保健室
文責 道塚 彩

9月に入りました。黎明祭も終わり、3年生はいよいよ大学受験や就職試験の勉強が正念場を迎えていますね。1・2年生は新人戦やコンクールの練習や日々の勉強に追われて忙しく過ごしていると思います。部活に・勉強に、夜遅くまで取り組んでいるみなさんの姿をほけんしつから見ていると、こちらも「がんばらなくちゃ！」という気持ちになります。

今月のほけんだよりは、『デートDV』について載せました。デートDVは、高校生にとって身近な問題であるにもかかわらず、「自分には関係ない」と考えている人も少なくないと思います。今、付き合っている人がいない人も、これから大学や社会に出る中で、たくさんの出会いがあるはずですが、そんなときに、自分だけでなく、自分が大切にしている人を傷つけないように、デートDVについてちょっと考えてみてください☆

好きな人と一緒にHAPPYなはずなのに… なんだかツライ…怖い…

デートDVって何!?



『DV』とは、英語の Domestic Violence の略で、夫婦や恋人など親密な間柄で起こる暴力のこと。中でも、彼氏・彼女といった交際相手からの暴力を『デートDV』といいます。なぐったり蹴ったりすることだけが暴力ではなく、相手を必要以上に束縛することで恐怖心を与えたり、心を傷つけたりすることも暴力にあたります。相手を思い通りに支配しようとする言動が『デートDV』なのです。

他人事じゃない!! あなたは大丈夫?? まずは、二人の関係をCHECK!!



- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> “バカ” “ウザイ” “デブ” など傷つくことを言う | <input type="checkbox"/> 無視する |
| <input type="checkbox"/> 気に入らないとすぐ怒ったり、物にあたったりする | <input type="checkbox"/> なぐったり、けったりする |
| <input type="checkbox"/> 二人のことも自分だけの都合で決める | <input type="checkbox"/> 友達との付き合いを制限する |
| <input type="checkbox"/> スマホを勝手にチェックしたり、アドレスを消したりする | <input type="checkbox"/> デートの費用を全部出させる |
| <input type="checkbox"/> 「好きならいいはず」と、気の進まないことをする | <input type="checkbox"/> 借りたお金を返さない |
| <input type="checkbox"/> 「別れるなら死ぬ」と言うとおどす | <input type="checkbox"/> 優しいときと怖いときの差がとても激しい |
| <input type="checkbox"/> 裸の写真や、下着姿の写真を無理に撮ったり、要求したりする | |
| <input type="checkbox"/> しつこくLINE やメールを送ってきて、すぐに返事をしないと怒る | |

・・・チェックが1つでもついたら、二人の関係は対等ではありません!

被害者は女性だけではない!!

…2016年2月7日毎日新聞記事より



大阪府の高校生グループが中高生 1000 人を対象にした調査の結果、男子生徒の約 3 割以上が「(彼女から) 暴言・暴力を受けて傷ついた」経験があると回答。女子生徒が「(彼から) 暴力を受けた」割合は 12% で、男子の半分以下。暴力に対して「いやだ」と言えない男子は 24%、女子は 17%。またこの調査の結果、デートDV被害を経験した高校生は約 3 人に 1 人であったことから、加害経験者も予想以上に多いのかもしれない。

裏面に続く→

どうしてデートDVをしてしまうんだろう？ どうしてデートDVから抜け出せないんだろう？

若者のデートDV“9つの特徴”

…現代性教育研究ジャーナル(2014年No.35より)

- ① 性的要素が強い…二人の関係が性行為をきっかけに急速に親密になると、「私たちは特別な関係」と考えるようになります。性行為を愛情と錯覚すると、性暴力被害に遭っているのに、自覚できないことも。
- ② 『束縛=愛情表現』…二人の関係が深まることで相手を「自分のもの」と感じるようになり、「愛しているから」「愛されているから」と束縛を愛情のひとつととらえてしまうこともあります。
- ③ 嫉妬(しつと)を理由にした支配…嫉妬は自分の自信のなさから生じる感情。その感情の裏返しとして相手を束縛、支配しようとし、また、いやだと感じても応じてしまうことで、DVが固定化されてしまいます。
- ④ 恋愛幻想がある…恋愛をドラマティックなものだと思い込んでしまうのが若者の特徴。「漫画やドラマのような恋愛ができるなら、多少のことは我慢しなくちゃ」と思ってしまうのが恋愛幻想です。
- ⑤ ピアプレッシャー…彼氏・彼女がいることで周りから「リア充」と言われたり、「大人になった」と考えたりする傾向があります。「別れたら誰ともつきあえないかも」という不安から暴力を我慢してしまうことも。
- ⑥ 暴力を認める傾向…荒っぽいことが魅力的だといったメディアの影響もあり、親密な相手に攻撃的になることが「イケてる」と考えている場合があります。
- ⑦ 暴力のサイクルが短い…暴力にはサイクルがあります。1 緊張期(加害者はイライラ、被害者はビクビク)⇒2 爆発期(暴力をふるう)⇒3 ハネムーン期(加害者は反省し、優しくなる) 若者の特徴として、この1~3のサイクルが短いため、昨日は泣いて「別れる」と言っていたのに、今日は二人でラブラブになっている…という姿に、周囲も混乱します。
- ⑧ 自分のことを知られすぎている…交際すると、お互いにすべてをさらけ出すことが当たり前と考えがち。
- ⑨ 相談先を知らない…彼氏・彼女のことを親や先生に相談することに抵抗を感じ、一人で悩むことに。内閣府の調査(2007年)では、主な相談相手は友人で、55.5%でしたが、42.7%は誰にも相談していません。



友達がデートDVしていたら…？

- ・暴力を認めない。…「暴力はいけない」とはっきり伝え、解決方法を一緒に考えてあげてください。
- ・暴力を否定しても、その人の人格すべてを否定しない。…とった行動に焦点をあてるようにしてください。
- ・信頼できる大人や専門機関に相談する。…高校生だけでは解決できないこともあります。



友達がデートDVされていたら…？



- ・まず友達の話をよくきいてあげる。
- ・「あなたは悪くない」とはっきり伝える。…被害者は自分を責めてしまいがち。この言葉はとても大切です。
- ・被害に遭った友達が自分を守るために何かしようと自分で決めたら、それを応援する。
- ・信頼できる大人や専門機関に相談する。

デートDVで自分が被害者にも加害者にもならないためには、「気づく」ことが大切です。何か気になることがあったら、いつでも保健室へ相談に来てくださいね。



9月・10月・11月のスクールカウンセラー来校日

9月 16日(金), 23日(金)※9月30日から23日に変更
10月 7日(金), 19日(水), 21日(金), 28日(金)
11月 11日(金), 18日(金), 25日(金), 30日(金)